

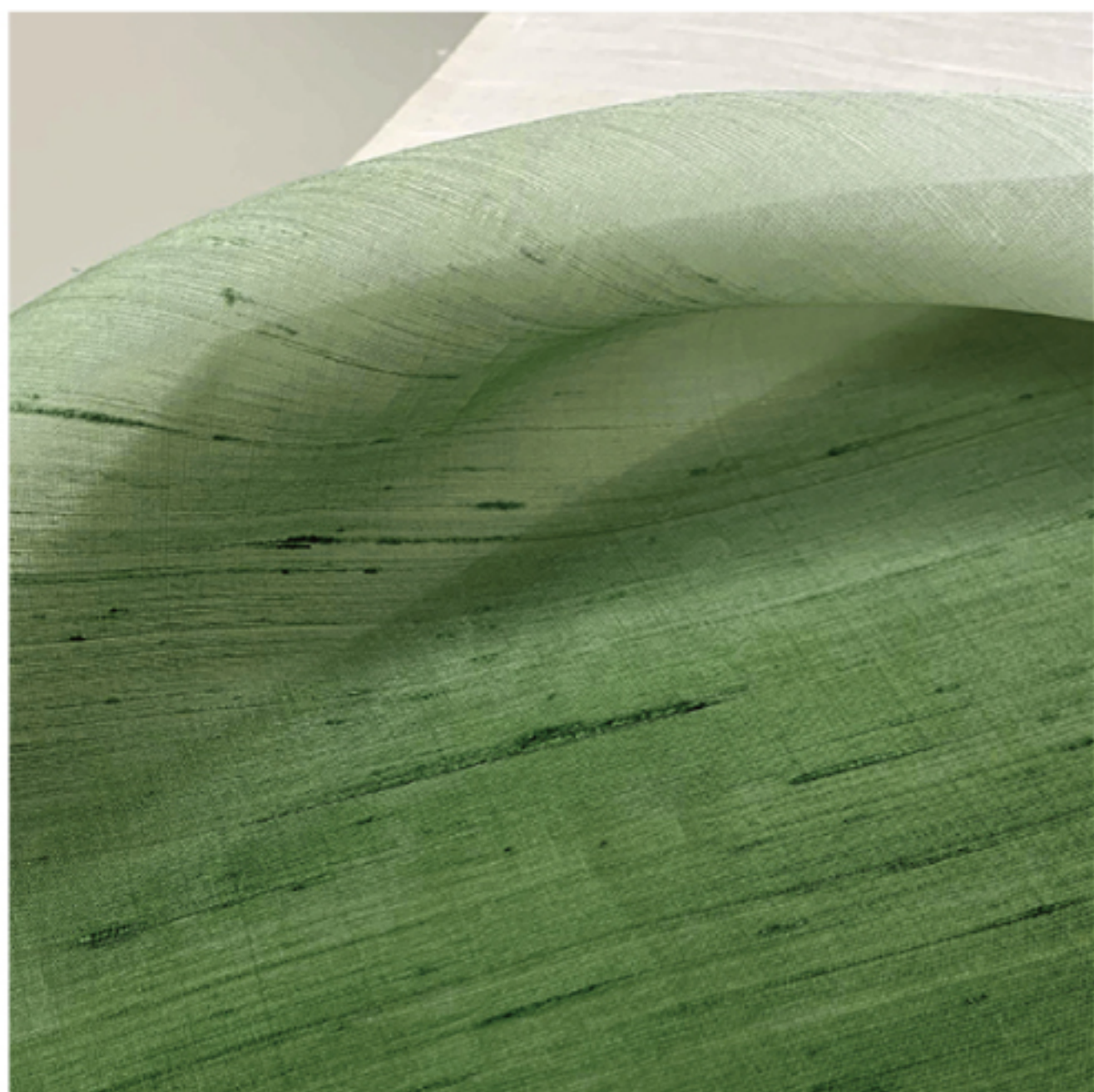
霞 絹

KASUMIGINU

いきものの、自然のゆらぎを織る

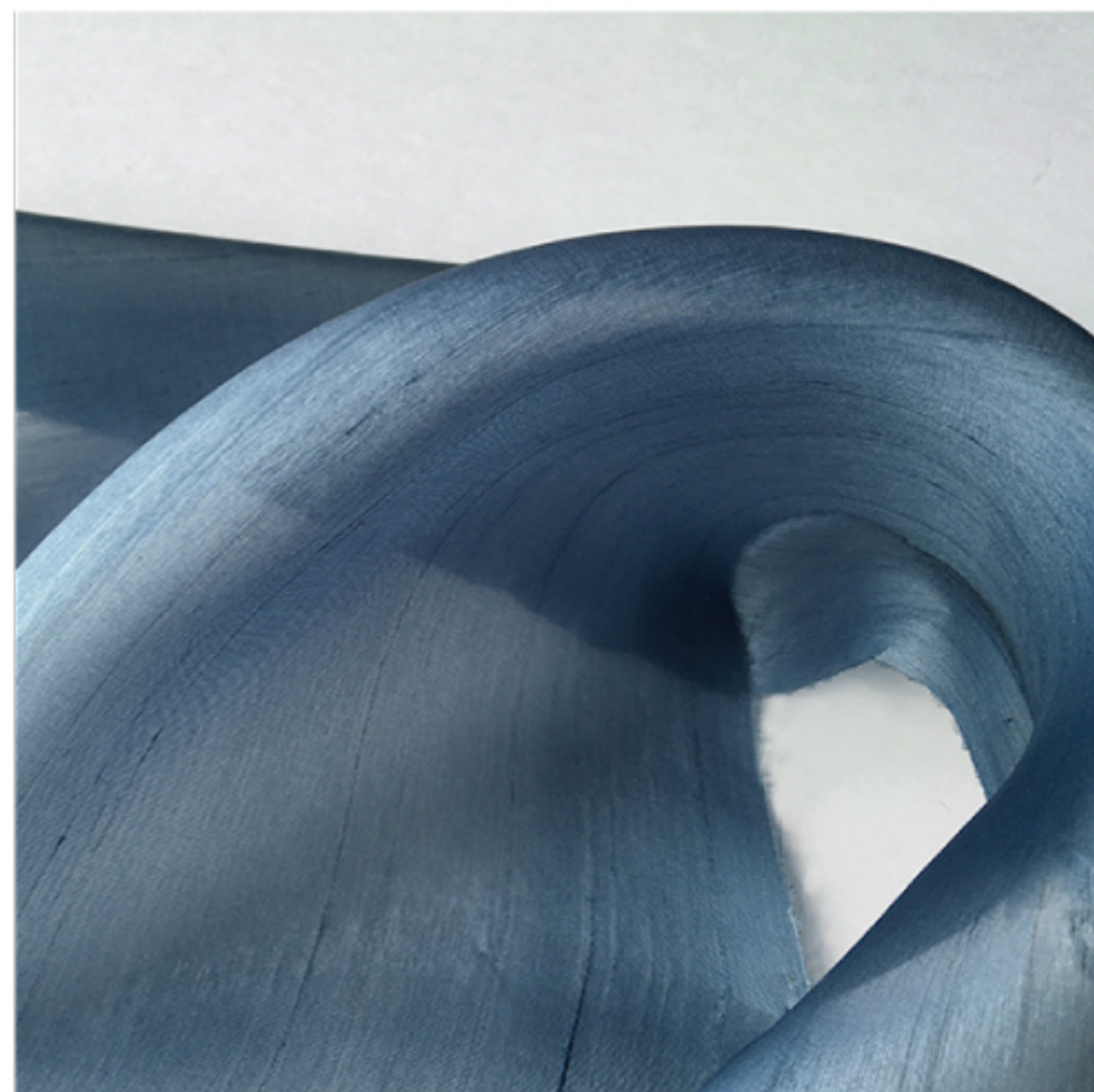
自然に作られる節糸を緯糸に使用した薄い絹織物。ゆらぎのある濃淡と独特の透け感は素朴でもあり、どこか幻想的な雰囲気のある空間を作り出します。緯糸はざっくり織られた大きな節をつくる「玉糸」と、美しい光沢と品のある純国産「松岡姫」の2種からお選びいただけます。

Variation



玉繭

玉繭から紡がれる糸にはっきりとした大きな節が多く、自然なムラが特徴的な生地が織り上がります。生地の打ち込みを少なくすることで、節がより印象的になり、透け具合も大きくなります。



松岡姫

国産ブランド蚕種「松岡姫」を使った霞絹には、絹らしい光沢感と繊細さがあります。染めた際の発色も良く、艶が現れます。座繰り繰糸によって人の手が生み出す節は、控えめながらもぬくもりを感じさせます。



松岡姫 について

明治 34 年松岡製糸所「廣告」に記録された日本古来からの優良蚕品種があります。その一つとして、特に美しい絹糸を作る繭として知られたのが、「松岡姫」です。第十五代 藩主酒井忠明氏から「松岡姫」の文字を揮毫頂き、日本初の繭・生糸から白生地までの統一ブランドが誕生しました。明治維新後、旧庄内藩士らによる 310 ヘクタールにもおよぶ開墾の歴史が生み出した、純日本の絹の最高峰です。

「- 松岡姫 - 霞絹」は座繰りによって繭から手で紡いだ糸を、自然の風合いを活かしたまま織り上げた純国産の絹織物です。